

平成 30 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社三光マーケティングフーズ  
 本店所在地 東京都中央区新川一丁目 10 番 14 号  
 代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 平林 隆広  
 (コード番号 2762 東証二部)  
 問 合 せ 先 取締役執行役員社長室長兼サポートセンター長  
 富川 健太郎  
 TEL 03-3537-9711 (代表)

平成 30 年 6 月期通期業績予想値と実績値との差異ならびに特別損失の計上に関するお知らせ

平成 30 年 2 月 9 日に公表いたしました平成 30 年 6 月期通期業績予想値と本日公表の同期実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 6 月期通期業績予想値と実績値との差異 (平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1 株当たり 当期純利益 円銭
前回発表予想 (A)	13,000	△400	△320	△900	△62.56
実績値 (B)	12,464	△493	△424	△1,656	△115.13
増減額 (B-A)	△535	△93	△104	△756	
増減率 (%)	△4.1	-	-	-	
(ご参考) 前年同期実績値 (平成 29 年 6 月期)	13,436	23	42	△298	△20.73

業績予想値と実績値との差異の理由

平成 30 年 6 月期通期の実績値につきまして、市場環境の変化を慎重に見極めた結果、既存業態の市場適合性をより高めたうえでの出店が不可欠であると考え、当初予定していた出店数に至りませんでした。また、若者のアルコール離れや中食の増加、宴会需要の減少、業種・業態の垣根を越えた競争の激化に加え、度重なる天候不順などの影響もあり、売上高が前年を下回る結果となりました。

利益につきましては、売上高の計画未達に加え、原材料価格の高止まりや人件費の増加、さらに減損損失を計上したことなどにより、営業損失 4 億 93 百万円、経常損失 4 億 24 百万円、当期純損失 16 億 56 百万円と、当初想定を下回る結果となりました。

## 2. 特別損失の計上について

今後も厳しい経営環境が続くと予想されることから各店舗の売上計画を保守的に見積った結果、当社が保有する固定資産につきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、平成30年6月期通期において9億98百万円の減損損失を計上いたしました。

また、平成30年6月期第4四半期会計期間において、貸主と賃貸借契約の解約に伴う合意解約金として2億12百万円を計上いたしました。

以 上